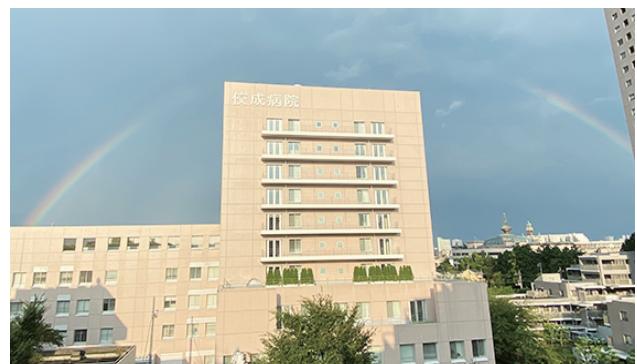


つなぐ

校成病院だより

第10号

2020年11月



特集

新型コロナウィルスとの闘い
～発熱外来

しんかん
佼成病院の理念 「真觀」

正しくみて 正しく手当する

基本方針

1. 「からだ」「こころ」「いのち」を一つとみて、質の高い安全な医療を実践します。
2. 患者さんとご家族に信頼され、地域で喜ばれる病院を目指します。
3. 教育病院として良き医療従事者を育成します。
4. 時りと願いをもち、温かいふれあいを実践します。



もくじ

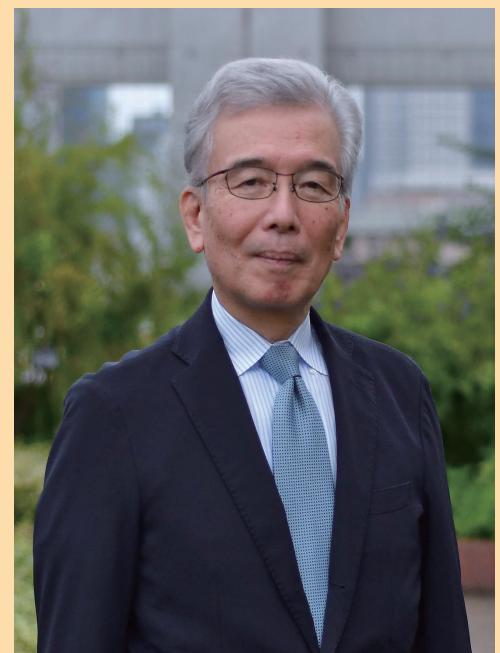
院長よりご挨拶申し上げます	3ページ
【特集】新型コロナウィルスとの戦い～発熱外来	4ページ
佼成病院に救急車がやって来た！	6ページ
てくてく杉並散歩/わたしのおススメ	8ページ

院長よりご挨拶申し上げます

当院では、まだ都内の新型コロナウイルス感染者数も少ない2月中旬、頭部外傷で緊急入院した患者さんに感染が確認されました。入院後、呼吸状態が極めて悪く病状の悪化が急激に起こりました。

このため、この患者さんの搬送先を主治医が探し、指定病院となっている駒込病院が受け入れてくれることになりました。しかし、民間救急車、消防庁救急車の手配が付かず、同じ区内の荻窪病院より救急車を借りて、当院の医師同乗のもと、事務職員が運転して搬送しました。この時に救急車の必要性を強く認識したため、当院では急遽救急車を購入し、4月より運用開始しております。

診療体制は2月18日以後、19日より病院閉鎖、3月9日の再開を経て、従来の診療体制を改め、発熱外来や新型コロナウイルス感染症病棟を設置し、懸命に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでまいりました。



最初の感染患者さんの入院以来、コロナを疑って隔離対応するまでに3日、感染確定までに6日間あり、この間の濃厚接触者確認（結果的には約50名、high gradeに分類される職員の自宅待機）、その他の状況把握に時間を要すると考え、苦渋の決断ではありますがクラスター化防止のための最善の策と考え病院閉鎖といたしました。

東京では第2波と思われる感染状況が小康状態となりましたが、依然予断を許さない状況が続いております。当院では全職員をあげて見えざる難敵に対応しています。

医師は全員でコロナ業務を分担しているため、従来の業務が2～3割減となっています。これまで当院を利用していただいた方々にはご不便をおかけすると思われますが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

皆様から頂く、温かい励ましのお言葉の数々、マスクや日常品などのご寄付に、心より感謝申し上げます。

皆様によって支えられている病院であることを再認識致しております。

皆様からの温かいお気持ちが、職員一同、難局に立ち向かう心の糧となっております。改めて御礼を申し上げます。

写真右
壁一面に貼られた
励ましのお手紙



感染が拡大し、感染経路がはっきりしない事例が増えた現状におきましては、これを抑え込むには、手指衛生を励行し、マスクを着用し、3密を避け、区民・国民の皆様の行動を自粛して頂き、感染機会を減らす以外に方法がありません。

校成病院では入院病床での対応を含めた受診体制を再度整理し、区民の皆様の不安や心配を最小限に出来ればと思っています。未曾有の国難とも言うべきこの難局を、区民の皆様と共に力を合わせて努力し、乗り越えていきたいと思いますので皆様のお力をお貸しください。

今後も安全で、当院を利用する皆様に信頼していただける病院を目指して努力をしてまいりたいと思います。繰り返しになりますが、皆で一緒に one team としてこの戦いに勝つという目標に向けて頑張りたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

2020年11月

院長 甲能直幸

佼成病院ドキュメント 「新型コロナウィルス」

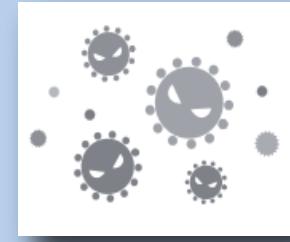
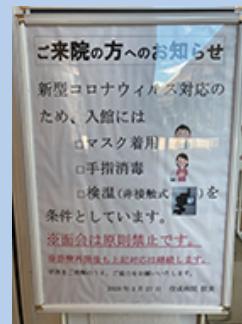
佼成病院では、今年2月に初めて新型コロナウィルスの患者さんを確認しました。

当初は疾患に対する知識や情報が十分でない中で、手探り状態での対応を余儀なくされました。このページでは、佼成病院の発熱外来の3月から10月までの約8ヶ月間の対応を、時系列でご紹介します。

通常の診療を行いながら発熱外来を運用するには、職員全員の協力とサーモグラフィーなどの機器の導入に加え、患者さんのご理解が不可欠でした。



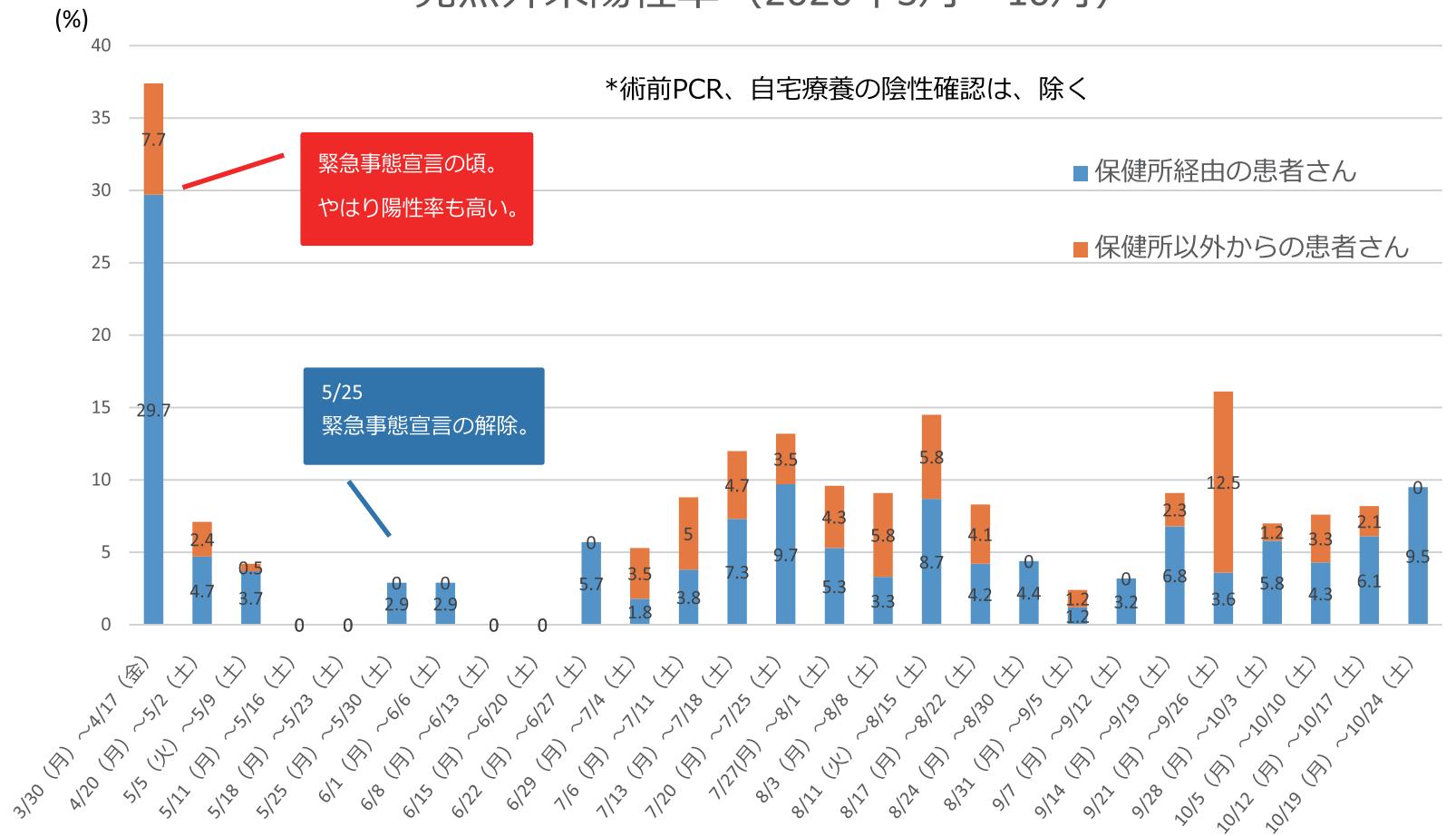
写真右
正面玄関に設置した掲示。患者さん一人ひとりに、検温と消毒をお願いしています。



写真右上
1階入り口に設置されたサーモグラフィー。マスクをきちんとつけていないと警告音が鳴る優れもの。



発熱外来陽性率 (2020年3月～10月)



◎外来診療の推移

2/18～

外来縮小

"院内からコロナウイルスの二次感染を出さない"

- ・ファックス処方の導入

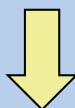
3/9～

診療再開

"院内にウィルスを入れない"



- ・トリアージ問診票の運用開始
- ・サーモグラフィー設置
- ・患者さん導線の確保
(入口を一方通行、地下からの導線)
- ・トリアージで疑いが強い患者さんは、地下1階で診察



発熱者に対応する場所が必要

3/30～

発熱外来開始

"通常診療を行いながら、コロナ対応"

- ・玄関トリアージの人員縮小
- ・保健所からの要請患者さんへの対応を開始
(同時に、ご自身で来院する患者さんにも対応)

4/7 緊急事態宣言

このころ陽性率 37.4%



CTなどの検査への導線や待機場所に課題

4/13～

健康管理室での発熱外来開始

"総力戦"



- ・健康管理室の協力
- ・新型コロナウイルスの外注検査が可能に
- ・ビブス隊（外来患者さん誘導員）編成
- ・杉並区医師会の先生方の協力（計24名）
- ・自宅療養患者さんの陰性確認
- ・医師会からのFAX予約を開始

移設時の陽性率 7.1%



病院として健診と救急の早期復活が望まれる

最終週の陽性率 2.9%

6/6～

発熱外来運用本格化

"with コロナ"

- ・機能の縮小 CT・採血はしない、原則完全予約制
- ・ビブス隊の縮小
- ・PCR採取ボックスの設置
- ・小型サーモグラフィー設置
- ・LAMP（検査）法の運用が本格化
- ・集団PCR（院内を入れて、計4回）
- ・自費PCR開始
- ・術前PCRの運用開始
- ・8/30～PCRスポットの正式な運用開始

※陽性率とは

1日あたりの新規新型コロナ患者数
1日あたりのPCR検査数
× 100%

発熱外来について

佼成病院では、新型コロナウィルス患者さんの外来診療を行う「杉並区発熱外来」を設置しています。今回は、この発熱外来をとりまとめているメンバーの一人、副院長兼泌尿器科部長 富田 雅之医師にお話を伺いました。

Q. 現状を教えてください。

- A. 直接受診された患者さんその他に、医師会や保健所からご依頼をいただいた患者さんなどを、それぞれの時間帯を設定して診療を行っています。感染管理のため、診療スペースは感染の危険区域・非危険区域に区切っていますが、時間帯も区切ることで、さらに感染のリスクを下げるよう努力しています。



今回話を聞いたのは・・・
副院長兼泌尿器科部長
富田雅之 医師

Q. 現在、PCR検査での陽性率はどのくらいですか？

- A. 緊急事態宣言前が一番高く約37%でしたが、今は7～8%です。下がっていますが、まだ安心できないレベルです。



Q. 今まで一番苦労されたことは何ですか？

- A. 当初、発熱外来を始めた頃には、症状が強く採血や画像検査が必要な患者さんが多く、検査室や待合場所への導線を考えるのが大変でした。導線問題は、その後、健康管理室を約2か月間、お借りすることで解消できました。

Q. PCR検査は結果が出るまでに時間がかかると聞きましたが、本当でしょうか？

- A. 現在はランプ法という検査方式で、院内で完結できるため、午前に検査すれば当日中には結果が出ます。結果は、医師が患者さん一人ひとりに電話で伝えています。

Q. 感染経路は特定できるものですか？

- A. 市中感染もありますので、それは難しいです。どんなに気を付けていても掛かる時があります。受け入れをする私たち医療者も最初の頃とは異なり、今はwithコロナ（コロナとともに）という気持ちで、一般診療と新型コロナウィルスの診療を並行して行っています。



Q. コロナが怖いから病院に行かない人が増えているという報道もありましたが、今、(担当の)泌尿器科の外来患者さんは戻ってきていますか？

- A. ご存知の通り、当院は2月18日から3週間外来を縮小し多大なるご迷惑をおかけしました。それにもかかわらず患者さんには、再開後あたたかいお言葉を多数いただきました。

Q. 今回は医師会の先生方が総勢24名も応援に来てくれました。

- A. 皆さんの施設も大変な時期にご協力いただきました。この広報誌は「つなぐ」ですが、まさに近隣の先生方との「つながり」を、現場において実感できました。この経験は、今後の医療連携にきっと役立つ信じています。

佼成病院に



救急車がやってきた！

4月に当院の悲願であった救急車が納車されました。すでに患者さんの搬送で活躍しておりますので、ご覧になられた方もいらっしゃるかもしれません。

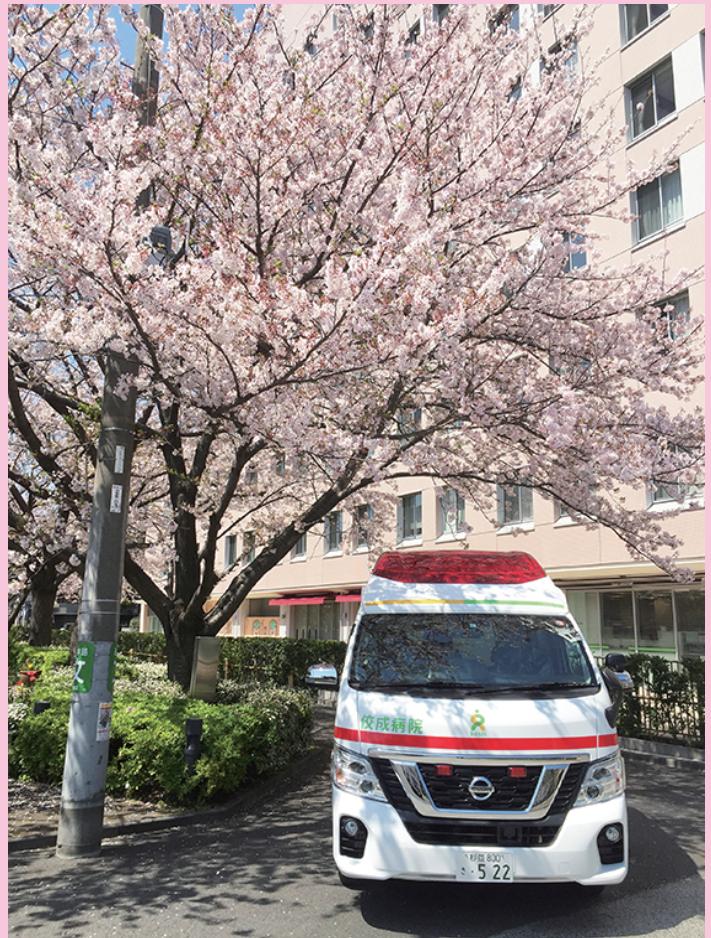
デザインは、他ではあまり見かけないグリーンとイエローの2色パターンのカラーリングになっています。

愛称は、院内公募により「Qちゃん」に決まりました。

さっそく先日、患者さんの転院搬送で出動。

搬送隊は、医師、看護師、運転士、補助者の4名で編成されました。慣れない防護服と初めての出動で隊員は緊張の連続。患者搬送は時間との闘いで、分刻みのタイムスケジュールの中、各自の役割を果たし、無事に患者さんを送り届けることができました。

消防白書によると、全国の救急車の出動件数は2004年に初めて500万件を超え、2018年には過去最多の660万5166件に達しているそうです。その内約6割は65歳以上の高齢者で、入院を必要としない軽症患者がほぼ半数を占めています。



写真上
病院南側ロータリーからの1枚。



写真左
救急車内部。これから出動するところです。

こうした急増の背景には、症状が安定した患者さんの転院など緊急を要しない搬送や、比較的軽症の患者さんの利用が増えている実情があります。

佼成病院に救急車が配備されたことで、このようなひっ迫した救急医療に尽力するとともに、災害拠点病院として人命救助や地域社会により、一層貢献してまいります。出動している姿を見かけられましたら、ぜひ応援のほどよろしくお願ひいたします。

東京消防庁より感謝状をいただきました

9月9日、救急の日にちなみ、当院の救急受入れに対し、東京消防庁救急部長より感謝状をいただきました。当日は、新型コロナウィルス対策のため、マスクはつけたままの簡単な授与式となりました。

佼成病院は、今後も地域の救急業務に貢献できるよう、職員一同力を合わせて邁進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。





てくてく杉並散歩 vol.8 「氷川神社・気象神社」

「日曜日は晴れてほしいなあ」と思う時はありませんか？

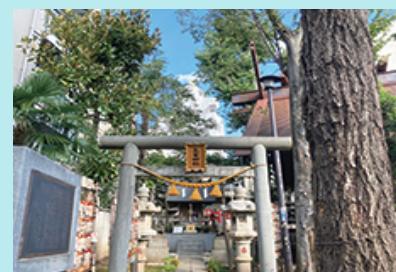
旅行や結婚式などイベントの前には「晴れ」を願うもの。

佼成病院の最寄り駅の一つ、JR 高円寺駅徒歩 3 分ほどの場所、氷川神社の中に、気象神社という小さな神社があります。

氷川神社は「すさのおのみこと」を御祭神とする、源頼朝に縁のある神社です。昭和 19 年、陸軍気象部（杉並区）の構内に造営された気象神社は、戦後撤去されるところ、調査漏れのため残り、先々代宮司の山本実さんが現在の氷川神社構内に受入れを決めたそうです。御祭神「やごころおもいかねのみこと」は『晴』『曇』『雨』『雪』『雷』『風』『霜』『霧』という八つの気象条件を司ることができるとされていて、晴天祈願や気象予報士の合格祈願に訪れる方が多いそう。（※ 個人でのご祈祷は受付していないそうですのでご注意を）



写真上
てるてる坊主の
おみくじ。カワユイ。



写真上 氷川神社の境内にある気象神社。



写真左
高円寺駅から徒歩すぐ。
ビルに囲まれた場所に
ぽっこり立つ氷川神社。



写真右
おひさまのマークが
かわいいお守り。



気象神社の絵馬は下駄の形。おみくじはてるてる坊主。

お守りも、太陽のマークが可愛くてつい顔がほころびます。

お散歩がてら、ぜひ訪ねてみてはいかがでしょうか。

★氷川神社・気象神社 社務所受付時間は、公式サイト、公式 Twitter でご確認ください。

杉並区高円寺南 4-44-19

参拝可能時間：

4月～9月：早朝～17:30

10月～3月：早朝～17:00



SUGINAMI CITY



ローストチキンが絶品

わたしのおススメ～「アイムチキン」

中野富士見町駅、杉並区に移転する前の佼成病院があった場所から目と鼻の先、神田川のほとりにそのお店はあります。今回紹介するのは、鶏料理がおススメの雰囲気バツグンのお店、「アイムチキン」です。

まるでお洒落なバーのような店内は、カウンターのほか、テーブル席が幾つかあり、川のそばという立地のおかげか、開け放した窓からさわやかな風が吹き抜けていきます。換気もバッチャリ。

そしてこのお店で驚くのは、メニューの豊富さ。看板メニューである



写真上
雰囲気のある店内。
照明の光が心地よい。



写真右
黒板に書かれた美味し
そうなメニューの数々

ローストチキンをはじめ、野菜たっぷりのサラダやオードブル、お酒のシメにぴったりのラーメンやチャーハン、ピザまで、びっくりするようなメニューが揃っています。

約束の時間の 40 分ほど前からローストしておいてくれたというチキンは、ボリュームもさることながら、ジューシーかつ、ちょっぴりスパイシーで口に入れた瞬間幸せが広がります。また、テイクアウトメニューも充実。

この日いただいたのは、チキンオーバーライス！

これまた、生野菜とポテトサラダ、サフランライスの上にドン！と乗ったスパイシーチキンの美味しいこと♪

週末の夜、ご家族団らんや一人飯にぜひどうぞ。



写真上
ローストチキンハーフ。
1280 円



写真上
明るく気さくな伊東店長。



写真上
チキンオーバーライス 900 円。
栄養も幸せも満点。



アイムチキン

中野区本町 5-41-8

TEL 03-6310-6391

平日 18:00 ~ 25:00

日祝 18:00 ~ 24:00

定休日：月曜日

東京メトロ丸ノ内線

中野富士見町駅より徒歩 3 分

各種テイクアウトあり



神田川の横です

つなぐ
佼成病院だより

10号
2020年

11月

発行 佼成病院広報委員会

発行責任者 病院長甲能直幸